

SAP Business Intelligence Suite

文書バージョン: 4.1 Support Package 7 – 2016-03-21

SAP Business Intelligence Suite リリースの制限

目次

1	このドキュメントについて.....	3
2	リリースの制限.....	4
2.1	SAP BusinessObjects BI プラットフォーム.....	4
2.2	SAP BusinessObjects Web Intelligence.....	5
2.3	データアクセス.....	5
2.4	SAP BusinessObjects Live Office.....	5
2.5	SAP Crystal Reports.....	7
2.6	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP.....	8

1 このドキュメントについて

リリースに関するこれらの制限には、SAP Business Intelligence Suite に存在する既知の問題と設計上の制約について重要な情報が含まれています。このソフトウェアをインストールする前に、ドキュメント全体を読むことをお勧めします。このリリースの詳細については、<http://help.sap.com/bobip> を参照してください。

2 リリースの制限

2.1 SAP BusinessObjects BI プラットフォーム

SAP BusinessObjects BI プラットフォーム 4.1 SP06 から SP05 へのダウングレードの前提条件

SAP BusinessObjects BI Platform 4.1 SP06 から SP05 にダウングレードするには、必ず FRS ファイルバックアップと CMS データベースバックアップを手動で復元してください。また、次の手順を実行してください。

- DFO の場所 ► [インストール先](#) ► [SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0](#) ► [dfo](#) ► [dfo_xxxxxxxxxxxxxx](#) ► [SI](#) ► に移動します。
- 2 つの DFO ファイル (「CrystalReportsNextGenProcessingServiceContainer」および「OutOfBoxCrystalReportsNextGenProcessingServer」) をキャッシュディレクトリから削除します。
- それを新しいディレクトリに移動します。
- 次に、SIA を再起動します。

BI ラウンチパッドおよび CMC では、Web Intelligence レポートの SFTP 出力先への送信は有効化されていません

4.0 から 4.1 SP6 へのいくつかのパッチアップグレードでは、BI ラウンチパッドおよび CMC での Web Intelligence レポートの SFTP 出力先への送信は有効化されていません。これは、PIN ファイルのデプロイメントのエラーが原因です。

「回避策」

- BusinessObjects_Webi_pin.xml を <BIP_INST_DIR>/setup/packagestemp から <BIP_INST_DIR>/sap_bobj/enterprise_xi40/packages にコピーします。
- SIA を再起動します。

BusinessObjects_Webi_pin.xml ファイルが <BIP_INST_DIR>/sap_bobj/enterprise_xi40/dfo にデプロイされ、<BIP_INST_DIR>/sap_bobj/enterprise_xi40/packages から削除されます。このように BusinessObjects_Webi_pin.xml ファイルが <BIP_INST_DIR>/sap_bobj/enterprise_xi40/packages から削除されたことは、PIN ファイルのデプロイメントに成功したことを示しています。

これで Web Intelligence レポートの SFTP 出力先が有効化されました。

2.2 SAP BusinessObjects Web Intelligence

拡張ポイント

Web Intelligence リッチクライアントおよび SAP BusinessObjects Web Intelligence の Java インタフェースでは WebGL はサポートされていません。

2.3 データアクセス

Simba ODBC ネットワークレイヤ、Bigdata ODBC コネクタは、Suse12 および Redhat 7 プラットフォーム上では動作しない

Simba ODBC ネットワークレイヤ、Bigdata ODBC コネクタは、Suse12 および Redhat 7 プラットフォーム上では動作しません。これは、Simba ドライバがサポートされておらず、以下のコネクタとの互換性がないためです。

- Apache Hadoop HIVE 0.12
- Apache Hadoop HIVE 0.13 (Hive2)
- Apache Hadoop HIVE 0.14 (Hive2)
- Cloudera Impala 1.0
- Cloudera Impala 2.0
- Amazon EMR Hive 0.11
- Amazon Redshift

2.4 SAP BusinessObjects Live Office

セッションタイムアウトのない Live Office

Live Office にはセッションタイムアウトがないため、ユーザは手動でログオフする必要があります。

クエリパネル - プロンプトによるランクのフィルタリング

ユニバースに基づくクエリでは、ランクの *WHERE* 条件をプロンプトとして定義することができません。選択すると、ユーザは実行時にアカウント情報の入力を要求されません。

回避策: ユニバースに基づくクエリでは、ランクとプロンプトを別々のフィルタとして定義する必要があります。

階層 LOV に基づくフィルタクエリ

- 「階層 LOV (.unx ユニバース): LOV からの値選択と互換性のない手動入力」
手動入力と LOV からの値選択の両方を使用する場合は、LOV から選択された値だけが取得されます。
- 「階層 LOV (.unv universe): 手動入力のみサポート」
階層 LOV に基づくフィルタリングでは、手動入力だけがサポートされています。LOV から選択された値は返されません。

チャンク化 LOV (.unx universe) - デフォルト値のある日付型と一覧からの選択はサポート対象外

クエリパネルでは、[デフォルト値の設定]と[一覧から選択]のオプションがプロンプトダイアログによって日付書式とは認識されません。

プロンプトのバインド

- 「プロンプトのネスト」
プロンプトのバインドは、ネストされたプロンプトのどのレベルでも使用できません。
- 「階層 LOV (.unx universe)」
クエリパネルではプロンプトのバインドが許可されておらず、Report パーツにより階層 LOV に基づくプロンプト (Excel 範囲または定数値に対するプロンプト) に対してこのオプションを使用することはできません。
- 「階層 LOV (.unv universe)」
プロンプトを Excel 範囲にバインドする場合、クエリパネルで LOV の追加オプションは許可されておらず、また Report パーツにより.unv ユニバース上の階層 LOV に対してこのオプションを使用することはできません。手動入力のみサポートされています。
- 「[LOV のフィルタ] オプションを使用した LOV へのプロンプトのバインド」
[LOV の追加] オプションは、[LOV のフィルタ] オプションを使用する LOV へのプロンプトには使用できません。
- 「インデックスを持つ .unx ユニバースでの Excel へのプロンプトのバインド」
[一覧から選択] オプションが有効化されている場合、インデックスを持つ .unx ユニバースに基づくプロンプトをバインドすることはできません。
回避策: 手動入力を許可します ([一覧から選択] オプションを無効化)。

2.5 SAP Crystal Reports

クリスタルレポートドキュメントのプロンプトパラメータの値範囲を "Exclusive" に指定

Crystal レポートドキュメントのプロンプトのパラメータに基づいて範囲を渡す場合、“Exclusive” として範囲を指定して、ドキュメントを最新表示にするとその値はアプリケーションでは考慮されません。パラメータの範囲が exclusive または inclusive (開始値および終了値の両方) として定義されているかどうかにかかわらず、プロンプトを含む Crystal レポートドキュメントを最新表示すると、値は常に考慮されます。

【データソースを開く】ダイアログでのフラットファイルパスを指定した後のローカルおよびリモート接続タイプの切替え

Enterprise の Crystal Reports では、ベンダーによる接続のための [データソースを開く] ダイアログで、.CSV/.TXT をデータソースとして選択し、.csv or .txt ファイルのパスを指定すると、ローカル接続タイプとリモート接続タイプの切替えは機能しなくなります。

HANA ベースの Crystal Reports for Enterprise を Business Objects サーバのリポジトリに保存

HANA Report のデータソース (ユニバース、レポート接続オブジェクト、HANA など) が Business Objects Server にマッピングされていない場合でも、HANA ベースの接続レポートを Business Objects Server に保存できます。Business Objects client Viewer (または Crystal Reports for Enterprise) で、この保存されたレポートを開いて最新表示すると、レポート機能が停止されます。


Crystal Reports for Enterprise では、以下のシナリオで、**HANA** データソースの階層データを正しく示すことができない可能性があります。

「親子階層」: HANA ビュー からの階層項目がレポート生成時に最初の列以外の任意の列として選択されると、親子階層が誤って伝えられる可能性があります。

「外部階層でのグループ化」: レポート作成時に、外部階層でグループ化が行われると、子レベルの反復によって一部のデータセットで混乱が発生する可能性があります。

2.6 SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP

OLAP ワークスペースにおける特定の機能のパフォーマンス変動

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP 4.1 サポートパッケージ 06 をアップグレードすると、Business Intelligence Consumer バージョンが 2.25.1 から 2.28.1 にアップグレードされるため、OLAP ワークスペースのパフォーマンスが向上します。この機能強化は、50 人以上のユーザが同じ操作を実行する場合にのみ、ドリル、軸の交換、並べ替えなどの特定の機能のパフォーマンスに影響します。詳細については、[2184564](#)  を参照してください。

重要免責事項および法的情報

コードサンプル

この文書に含まれるソフトウェアコード及び / 又はコードライン / 文字列 (「コード」) はすべてサンプルとしてのみ提供されるものであり、本稼動システム環境で使用することが目的ではありません。「コード」は、特定のコードの構文及び表現規則を分かりやすく説明及び視覚化することのみを目的としています。SAP は、この文書に記載される「コード」の正確性及び完全性の保証を行いません。更に、SAP は、「コード」の使用により発生したエラー又は損害が SAP の故意又は重大な過失が原因で発生させたものでない限り、そのエラー又は損害に対して一切責任を負いません。

アクセシビリティ

この SAP 文書に含まれる情報は、公開日現在のアクセシビリティ基準に関する SAP の最新の見解を表明するものであり、ソフトウェア製品のアクセシビリティ機能の確実な提供方法に関する拘束力のあるガイドラインとして意図されるものではありません。SAP は、この文書に関する一切の責任を明確に放棄するものです。ただし、この免責事項は、SAP の意図的な違法行為または重大な過失による場合は、適用されません。さらに、この文書により SAP の直接的または間接的な契約上の義務が発生することは一切ありません。

ジェンダーニュートラルな表現

SAP 文書では、可能な限りジェンダーニュートラルな表現を使用しています。文脈により、文書の読者は「あなた」と直接的な呼ばれ方をされたり、ジェンダーニュートラルな名詞 (例: 「販売員」又は「勤務日数」) で表現されます。ただし、男女両方を指すとき、三人称単数形の使用が避けられない又はジェンダーニュートラルな名詞が存在しない場合、SAP はその名詞又は代名詞の男性形を使用する権利を有します。これは、文書を分かりやすくするためです。

インターネットハイパーリンク

SAP 文書にはインターネットへのハイパーリンクが含まれる場合があります。これらのハイパーリンクは、関連情報を見いだすヒントを提供することが目的です。SAP は、この関連情報の可用性や正確性又はこの情報が特定の目的に役立つことの保証は行いません。SAP は、関連情報の使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。すべてのリンクは、透明性を目的に分類されています (<http://help.sap.com/disclaimer> を参照)。



**go.sap.com/registration/
contact.html**

© 2016 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、<http://www.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx> をご覧ください。